

2017年3月

NPO法人 学習塾全国連合協議会 東日本ブロック

NPO 塾全協

塾全協東通信



題字：伶齋（白川亮 進ゼミ柏）

2017年度 NPO塾全協東日本ブロック 第3回研修会

『千葉県公立前期入試の分析』 レポート

日時 2017年（平成29年）2月17日（金）

10:30～12:30

場所：新柏 久利船

参加者：13名

協力：進学研究会



《前半》平成29年度千葉県公立前期入試問題の分析

（コメント：進学研究会 福原洋氏、書き起こしは東日本ブロック研修局長 星野勝弘先生）

国語：大問4(3)「失笑する」の本来の意味を尋ねる問題が難しかった。例年出題されていた三文字熟語が四文字熟語に変更されたりと細かな変化は見られたが、難易度は前年(平均57.0点)程度であろう。

数学：作図問題が難しかったことは例年通りだが、昨年度と比べて全体的に難易度は下がったと思われる。前年度の平均点(47.4点)が低かったため、50点台には届くと思われる。

英語：大問4がリスニングに変更となり、リスニングの配点が21点から33点に大幅に増えた。全体として新しい問題も目立ち、英作文も難易度は高いため、平均点は昨年度(50.3点)よりは下がるのではないかと。

理科：地震の問題に元禄地震の嘆願書が資料として出されたり、天体の問題などが難しかったが、昨年度(平均点46.3点)と比べるとかなり難易度は低下したため、10点ほどはUPすると予想される。

社会：「ベンチャー企業」「情報リテラシー」「ヒスパニック」「難民」など、現代社会に関する問題が増加した。平均点は昨年(58.1点)同様かやや下がるのではないかと。

塾全協の分析：

会員塾から集められた自己採点の結果を見ると、昨年度よりはだいぶ平均点は上がるだろう。しかし、昨年度の自己採点結果と比較すると、偏差値 55 ぐらいまでの高校を受験した生徒の平均点は大幅に上がっている(約 40 点)が、偏差値 60 以上の高校を受験した生徒の平均点だけに絞って比較すると 7～8 点ほどのアップにとどまっている。おそらく取りやすい問題が増えたため全体としての平均点は大きく上がるだろうが、最上位校では合格最低点が大幅に上がるとは考えにくい。

《後半》平成29年度千葉県公立前期入試後期入試の動向について

(コメント：進学研究会 五十嵐裕明氏)

*NPO 塾全協 HP の「塾全協会員専用ページ」の資料をご覧ください。

NPO 塾全協東日本ブロック東京地区ミニ研修会

『都立高校入試直前 応募状況と動向』 レポート

日時：2017年（平成29年）2月13日（月）10:00～12:00

場所：池袋ルノアール パルコ横店 第1会議室

講師：創育・新教育研究協会 営業次長 穴澤嘉彦氏

参加者：4名

文と写真：中村基和

* 今回は箇条書きにしました。

- 都教委によると数学は大問2が目玉。読解力を要する。
- 女子が専門学科に流れている。
- 旧4学区は予想以上に私立に行っていない。10月くらいに急に都立志向が増す。2~4番手に集まる。
- トップ校（西など）は少し倍率が下がっている。
- 女子の安全志向が極端に高い。
- 多摩地区が一番下の方が倍率が高い。
- 多摩地区の専門学科は差し替え先がない。→杉並、中野に移る。（杉並工業、中野工業は1倍未満）
- 中高一貫校の倍率が出て来た。

中高一貫校は中学から入る子は上下に分かれ、間に高校から来る子が入る。高校から来る子が入る子は「自分達がメインじゃない」という意識があり、それが倍率の低さに繋がっているのではないかと。しかし、今年は意外と倍率が高い。（富士、白鳳など）

- 都立の倍率が高いため都立に出願しても受けず、私立に行ってしまう子が多い。
- 声の教育社の過去問集では大学附属が売れない。（昨年の9割しか売れていない）日東駒専の附属に入るよりも進学実績を出している上、部活も制限しない都立に入って3年後にGMARCHに入った方が良いという理由。大学進学実績を出した豊多摩、北園は私立並みの説明会を実施し、倍率がアップしている。



- よほど併願校が嫌、または絶対都立いう子が差し替えをする。中学校の先生は、倍率が差し替え前と逆転することもあるので差し替えをさせない。
- 小平の英語コースは高倍率だが、田柄や五日市などの下位校の英語コースは1倍未満。
- 今年から世帯年収が760万未満の家庭の子が私立に行った場合はほぼ無償になるようだが、発表されたのが1月なので大きな影響はない。来年度は影響しそうだ。
- 国語は去年の平均点が70点を超過が高かったので今年は逆に難しくなりそうだ。社会の古い順に並び替える問題は今年は復活しそうだ。
- 戸山、西など上位校は小5、小6対象の説明会を行っている。都立中高一貫校に行かせないためだそうだ。2番手もやり始めると私立に行く子がいなくなってしまう。

以上、特に最後の「小5、小6対象の説明会」には驚きましたが、日比谷高校が50名を越える東大合格者を出した今、都立は復活へしたと言え、競争相手を私立でなく同じ都立にしているようです。

4月は塾全協新聞を発行しますので東通信4月号はお休みいたします。

NPO 塾全協東日本ブロック 今後の主な予定(2017年度)

5月21日(日) 東日本ブロック総会

中高入試を考える会・私学と私塾の新年度情報交換会

9月18日(月・祝) 東京 進学相談会

9月23日(土・祝) 千葉 進学相談会

9月24日(日) 埼玉 進学相談会

8月・10月にブリテッシュヒルズ英語合宿を実施予定

編集 NPO 塾全協東日本ブロック 事務局長 中山和行

〒350-0322 埼玉県比企郡鳩山町今宿 229 (中山塾内)

tel 049-296-1111 fax 049-296-1111 Email gyqbt650@ybb.ne.jp

NPO 塾全協 HP <http://www.npojzk.com/>